



Asake Junior high school

# 和学鍛



朝明中学校通信 令和8年2月3日号

## 第4回コミュニティスクール運営協議会



1月28日(水)第4回コミュニティスクール学校運営協議会を実施しました。最初に3年目を迎えた学校給食について、給食の内容や栄養のこと、また中学校給食を通して学ぶこと等の説明を行った後、実際に試食しました。そして、生徒による配膳や昼食の様子を観察しました。みんなでそろって温かい給食を食べている姿をと



好意的に見ていただきました。今後も学校給食を生きた教材として活用していきます。

昼食視察の後、本年度の学校の取り組みや教育診断結果などの報告、今年度の振り返り、来年度ビジョンの意見交換等を行いました。委員のみなさまからは様々な視点からご意見、ご感想をいただきました。いただいた意見については、校内で共有し、改善につなげていきます。今後も、地域や保護者のみなさまとともにある学校づくりを推進し、本校の教育の充実・向上により一層努めてまいります。委員のみなさまのご協力に感謝いたします。



## リテラス論理言語力検定



11月に3年生で実施した「リテラス論理言語力検定」の結果が出ました。この検定は四日市市が新教育プログラムや第4次学校教育ビジョンで示している読解力・表現力の向上を目指し、全公立中学校で行っている検定です



大学入試で、取得級を活用しているところもありますが、今回の検定(受検級は3級)は実際の「〇級取得」ではなく、「〇級相当」といった結果を受けるものとなっています。リテラス検定では「語彙運用力」「情報理解力」「社会理解力」の3つの力が測られています。

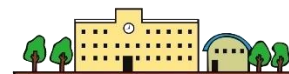
今年度朝明中学校3年生の検定結果は、「語彙運用力」は全国と同等、「情報理解力」と「社会理解力」は全国平均値よりも高い結果となり、全体平均は全国よりも高い値となっています。今後も、授業を中心に学校教育活動全体において言語活動を充実させ、読解力・表現力の育成を図っていきます。

## 学校自己評価



二学期末にご協力をいただいた学校自己評価の集計と検証をしました。全体的に評価の高い項目が多いのですが、昨年度と比較すると、保護者・生徒ともに評価が上昇する項目の方が多くあった一方、教員においては、多くの項目で評価が低下しました。これは、教員がその内容の指導の現状を厳しく判断し、もっと改善・努力できる可能性があると考えたためであると思われます。

項目別に見て、三者とも特に高い評価のものは「特色ある教育課程の編成」「保護者や地域の人たちとの連携」が挙げられます。また、「情報発信」「教職員の対応」は教員・保護者(生徒の回答はなし)ともに高い評価となっています。また、「道徳・人権学習の充実」「充実した学校生活」「いじめ等への対応」については三者とも3.2以上の評価となっており、取組を継続していきます。一方、「授業の充実」については生徒の評価は高いものの、保護者の評価は3.0未満となっています。子どもたちが主体的に学ぶ意欲が持てるよう、授業改善をより一層進めてまいります。「充実した学校生活②」の「あいさつ」については、生徒が高く、教職員が低い結果となっています。この数年間続いている傾向ですが、あいさつを「しているつもり」でも受け取る側においては、まだ不十分な部分が多いと感じているようです。「生徒会による朝のあいさつ運動」「保護司やPTAの方々との協力によるあいさつ運動」など取り組んでいますが、これからは「あいさつをする」だけでなく、「気持ちの良いあいさつをする」という意識が芽生えるよう教育活動の中で仕組んでいくとともに、地域・家庭と一体となってあいさつの取組をすすめていきたいと考えています。今後も学校づくりビジョンにある目標を目指し、教育活動に努めていきます。調査等のご協力ありがとうございました。



領域	自己評価内容	設問内容	評価者	評価値
教育目標	1 学校教育目標・学校づくり	教①: 学校教育目標・学校づくりビジョンは、生徒たちの実態に即した適切なものである。	教職員	3.5
		保①: 学校教育目標・学校づくりビジョンは、子どもたちの実態から見て適切なものである。	保護者	3.2
	2 学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けた努力	教②: 学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けて適切な取組を行っている。	教職員	3.3
		生①: 先生は、朝明中学校をよりよい学校にするために努力している。	生徒	3.7
		保②: 学校の教育活動は、全体的に見て満足できる。	保護者	3.2
学習面	3 授業の充実	教③: 基礎・基本の定着を図るため、指導内容の精選や授業改善・工夫をしている。	教職員	3.4
		生②: 学校の授業は、課題の解決に向けて、自分で考えたい、もっと学びたいと思う内容になっている。	生徒	3.6
		保③: お子さんは、学校の授業を分かりやすいと感じている。	保護者	2.8
	4 特別支援教育の充実	教④: 生徒一人ひとりの特性や教育的ニーズに応じた指導・支援を工夫している。	教職員	3.4
		生③: 先生は、一人ひとりに応じた学習や生活面でのサポートをしている。	生徒	3.6
		保④: 学校は、生徒一人ひとりに応じた指導・支援を工夫している。	保護者	3.0
	5 特色ある教育課程の編成	教⑤: 総合的な学習の時間や行事等は、特色ある教育課程をめざしたものとなっている。	教職員	3.6
		生④: 総合的な学習の時間や行事等には、興味や関心を持って取り組める。	生徒	3.7
		保⑤: 学校は、総合的な学習の時間や行事等で、特色ある教育活動を行っている。	保護者	3.2
	6 道徳・人権教育の充実	教⑥: 心の教育の充実のため、道徳・人権教育の推進に努力している。	教職員	3.5
		生⑤: 学校では、道徳を通して、命の大切さ、社会のルール、人権などを学ぶ機会が多い。	生徒	3.7
		保⑥: 学校は、人権を大切に子どもを育てようとしている。	保護者	3.2
	7 キャリア教育の充実	教⑦: 生徒の興味、関心、適性に配慮し、3年間を見通したきめ細かい進路指導を行っている。	教職員	3.5
		生⑥: 学校では、進路について十分に学ぶことができ、進路の情報も知らされている。	生徒	3.5
		保⑦: 学校は、進路に関して十分な学習を行い、家庭への適切な情報提供も行っている。	保護者	3.0
	8 適切な評価	教⑧: 生徒の能力、努力、学力を適切に評価している。	教職員	3.6
		生⑦: 先生は、学習の評価を適切に行っている。	生徒	3.7
		保⑧: 学校は、子どもの能力、努力、学力を適切に評価している。	保護者	3.1
	9 朝の読書の有効性	教⑨: 朝の読書により、本への関心が高まり、落ち着いた学校生活が送れるようになっている。	教職員	3.1
		生⑧: 朝の読書により、本への関心が高まり、落ち着いた学校生活が送れるようになっている。	生徒	3.4
生活面	10 充実した学校生活	教⑩: 生徒は、伸び伸びと学び、充実した学校生活を送っている。	教職員	3.4
		生⑨: 学校生活は楽しいと思う。	生徒	3.7
		保⑨: お子さんは、学校生活を楽しく過ごせるようになってきている。	保護者	3.2
	11 充実した学校生活②	教⑪: 生徒は、学校や地域で自分からあいさつをすることができる。	教職員	2.8
		生⑩: 学校や地域で、自分からあいさつをしている。	生徒	3.7
		保⑩: お子さんは、学校や地域で自分からあいさつをしていると思う。	保護者	3.0
	12 いじめ等への対応	教⑫: いじめや暴力などの問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	教職員	3.4
		生⑪: 先生は、いじめや暴力などの問題にいていねいに対応している。	生徒	3.7
		保⑪: 学校では、いじめや暴力を許さない学校づくりに取り組んでいる。	保護者	3.2
	13 教育相談の充実	教⑬: 生徒とのふれあいを大切にして、生徒の心に寄り添う生徒指導に努めている。	教職員	3.6
		生⑫: 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	生徒	3.5
		保⑫: お子さんは、先生たちが親身になって接していると感じている。	保護者	3.1
家庭や地域の信頼づくりに応え	14 通学路の安全	教⑭: 生徒が交通ルールを守り安全に通学できるよう、指導を行っている。	教職員	3.3
		生⑬: 交通ルールを守り、安全に通学している。	生徒	3.7
		保⑬: お子さんは、交通ルールを守り、安全に通学している。	保護者	3.2
	15 保護者や地域の人たちとの連携	教⑮: 「地域とともにある学校づくり」をめざし、保護者や地域の人たちとの連携を大切にしている。	教職員	3.7
		生⑭: 授業参観や総合的な学習の時間などで、家族や地域の人たちとふれあう機会がある。	生徒	3.6
		保⑭: 学校は、授業を公開したり、子どもたちが地域の人たちとふれあう機会を積極的に設けている。	保護者	3.4
	16 危機管理体制(安全対策)	教⑯: 日常的な安全指導や、不測の事態に対処できる不審者対応などの危機管理体制が整っている。	教職員	3.1
		生⑮: 安心して学校生活を送ることができる。	生徒	3.6
		保⑮: 学校は、生徒が安心して学校生活が送れるよう安全に配慮している。	保護者	3.2
	17 情報発信の努力	教⑰: 通信、ホームページやH&S、懇談会等で、学校の様子やお知らせを保護者や地域に分かりやすく伝えている。	教職員	3.8
		保⑯: 学校は、通信・ホームページ、懇談会等で教育方針や学校の様子を分かりやすく伝えている。	保護者	3.3
	18 情報受信の努力	教⑱: 家庭訪問などを通して、保護者や地域の人たちの願いを掴むように努力している。	教職員	3.5
		保⑰: 学校は、保護者や地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。	保護者	3.2
	19 教職員の対応(接遇)	教⑲: 保護者や地域の人たちからの問い合わせや来校者に対して、誠実に対応している。	教職員	3.8
		保⑱: 学校(教職員)は、電話での問い合わせや学校を訪問したときに、誠実に対応している。	保護者	3.4